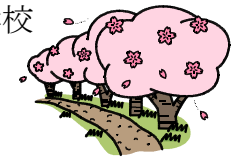
校長室便り

南小国町立南小国中学校

H31.4.19(金)No 1
文責　狭間卓史



新鮮な気持ちで

４月９日（火）は本校の第７３回入学式でした。今年の新入生は３４人。どの生徒も少し緊張しながらも立派な姿勢で参加できました。各ご家庭の皆様方にとって、先日まで小学生だった３４人が、制服を着たとたん少しだけ大人っぽく見えていらっしゃったのではないでしょうか？しかしながらこれからの三年間でさらにびっくりするほど成長を遂げてくれるはずです。どうか大きな期待を寄せてやってください。

「子育ては親育ち」という言葉があります。乳幼児期、小学生期と関わってこられた各ご家庭の皆様方も、いよいよ思春期編の子育て（親育ち）のスタートです。戸惑われることも多々あるはずです。そういう時には遠慮なく学校にご相談ください。本校職員も遠慮なく保護者の皆様方を頼らせていただきます。各ご家庭と本校とでじっくりと丁寧に話し合いながら最善の関わりができたらと思っています。

一年生の後方に控える二年生２７人、三年生２９人（含：転入生１人）、合計９０人の生徒数です。それぞれに進学・進級し、気持ちも新たにしている四月です。この「きよらの郷」の光とも言える９０人をどこまで輝かせることができるのか楽しみでなりません。

始めます

４月８日（月）は、平成３１年度就任式・始業式でした。

今年、異動してきたのは、私を含めて７人。本校に配属されるまでの経歴はそれぞれ異なりますが、７人に共通することは、「南中に勤めることができて良かった」という思いです。

私自身に限って言えば、１０年前に２年間だけでしたが勤務させていただいていた学校であり、懐かしさと同時に、再度、勤めることができる喜びを感じています。就任式で迎えてくれた生徒のきりっとした姿に、そして自分自身の言葉でその思いを伝えようとしてくれた姿に、各ご家庭と本校元職員との取り組みの成果を感じました。そして、この姿こそが本校の生命線であると気合いが入った次第です。生徒には本校での三年間で未来に通用する人として育ってほしいと願うばかりです。

平成から令和へと変わる時代の節目ではありますが、時代は変わっても変えてはいけないことはあります。状況に合わせて変えるべきところと貫くべきところを見極めながら取り組んでまいります。そして、生徒らが本校を卒業するときに「南中に学べて良かった」と思えるように、各ご家庭の皆さん方が「南中で学ばせて良かった」と思っていただけるように、さらには本校職員が「南中で働けて良かった」と思える取り組みを積み上げて行く所存です。それでは、平成３１年度（２０１９年度）南小国中学校を始めます。